



勝瑞館跡



勝瑞城跡公園

## 2 国指定史跡「勝瑞城館跡」

室町時代の阿波の守護所があったのが、藍住町勝瑞です。平成6年から始まった発掘調査によって、徳島の歴史に新たな1ページが加わりました。大きな濠や庭園跡、礎石建物跡の発見、そして、大量の遺物の出土。その中に希少な陶磁器などが含まれていたことから、勝瑞城館跡は戦国時代に阿波の実権を握っていた三好氏の城館跡であるとして平成13年1月29日、国史跡に指定されました。

現在も、阿波が輝きを放った当時の様子が次々とひも解かれており、勝瑞城館跡は徳島県を代表する遺跡として脚光を浴びています。藍住町ではこの勝瑞城館跡を史跡公園として整備し、出土品などの展示（平日9時～17時）も行っています。

所在地／藍住町勝瑞字東勝地61番地1  
TEL／(088)641-3466



バラ園

## 3 バラ園

色とりどりのバラが咲き誇り、豊潤なバラの香りが全園にただよみます。花型で選ぶか、樹型で選ぶか、品種や色で選ぶか、あなたのお気に入りバラを見つけて下さい。バラ園は入場無料で自由に見学していただけます。

見ごろ／春5月上旬～中旬、  
秋10月下旬  
所在地／藍住町矢上字原263番地88  
TEL／(088)637-3120  
(藍住町経済産業課)



藍住町の旧吉野川沿岸にはナンシ畑が広がります。品種は幸水・豊水が多く、酸味が少なく甘みが強いのが「幸水」、甘みの中にほどよく酸味のあるのが「豊水」です。8月から9月の収穫期には、ナンシ農家の庭先での直売も多く見られます。



鳴門市や板野郡を中心に徳島県内で一年を通して育てられているレンコン。藍住町では、旧吉野川の低湿地を中心に栽培され、品種は備中が大部分を占めています。表皮の美しさや形揃いの良さで関西の市場でも人気があります。



徳島県の名産品、赤系甘口味噌「御膳みそ」は米麹をふんだんに使用した深い甘さが特徴です。藍住町では明治30年代以降、藍の栽培が減少し、多くの農家が大豆をつくるようになりました。その大豆を原料として盛んになったのが味噌醸造業です。最近では多彩な商品が生産・販売されています。

# 藍住町 観光マップ

花と緑と太陽の町



バラ園



特産品・洋ニンジン



藍の花

## 藍住町のシンボル



### 町章

藍の色は、澄み切った大空と肥沃なみどりの平野、そして吉野川の清流をあらわします。円には人の和と無限の発展を象徴し、平和で住みよい理想郷実現への願いが込められています。



### 町の木／樟

常緑高木で成長も早く、樹勢きわめて旺盛でよく巨木となる樟は、たくましい力のシンボルとして本町にふさわしく、また町内春日神社には樹齢2000年ともいわれる「矢上の大樟」もあることから、ゆかりの深いものとして制定されました。



### 町の花／菊

切り花用の菊の栽培がさかんであったこともあり、誰からも愛される菊が町の花に選ばれています。小さな花びらをいっぱいつけ、ついには大輪となる菊のよう、本町もみんなが力を合わせ、文化や産業が花開くことを願っています。

## 藍住町への交通アクセス

■JRで JR徳島駅から約15分 JR高徳線 勝瑞駅下車

■バスで 徳島駅から約30分

- ・藍の館：徳島バス二条・鴨島線 東中富停留所下車 徒歩5分
- ・バラ園：徳島バス藍住線 藍住町役場前停留所下車 徒歩5分
- ・勝瑞城館跡：徳島バスかじや原線 勝瑞西停留所下車 徒歩5分

■車で 徳島駅から約20分

徳島阿波おどり空港から約30分  
(高速道路最寄りIC)徳島自動車道藍住IC  
高松自動車道板野IC



## パンフレットに関する問い合わせ先

### 藍住町経済産業課

〒771-1292 徳島県板野郡藍住町奥野字矢上前52番地1  
TEL：(088)637-3120 FAX：(088)637-3152

## 観光施設



奥村家屋敷(県指定有形文化財) 藍染めの製造工程を再現した紙人形



## 1 藍住町歴史館・藍の館

大藍商であった旧奥村家屋敷の建物や文書を昭和62年に11代当主奥村武夫氏から寄附されたのを機に、全国でも珍しい藍の専門資料館として平成元年8月に開館。寝床と呼ばれる藍の加工場内には、藍染め製造工程を再現した紙人形や、国の重要民俗文化財に指定されている阿波藍栽培加工用具をはじめ、農機具、民具などが展示されています。奥村家屋敷は県の有形文化財に指定されており、大藍商の威勢を反映した、優雅で荘厳な建築物として高く評価されています。



染めのパターン



藍染め体験

館内では、昔ながらの天然藍を使った藍染めを体験することができます。好きな染めの模様を選び、配置や色合いを工夫しながら、ハンカチやTシャツなど、自分だけのオリジナルアイテムをつくることができます。自分で染め物を持ち込んでの藍染め体験もできます。汚れてしまったお気に入りのシャツなどのリサイクルにもおすすめです。

所在地／藍住町徳命字前須西172番地  
TEL／(088)692-6317(藍住町観光物産協会)  
営業時間／9時～17時(藍染め体験は16時まで)  
定休日／火曜日(祝日は開館)、12月28日～1月1日  
入館料／大人300円、中高生200円、小学生150円  
体験料／ハンカチ500円ほか

## 特産物



吉野川堤防から見えるビニールハウス風景(11月～4月)

藍住町は春先に収穫する洋ニンジンの一大産地です。吉野川沿いの水はけの良い肥沃な沖積土壌で栽培されるニンジンは、すぐれた味覚と色合いをもっていて市場で高い人気を得ています。ニンジンは、秋から春にかけてビニールハウスの中で大切に育てられます。この時期、町内では一面のビニールハウス風景が見られます。

# 藍住町 ガイドマップ

藍住町は、徳島県の中央を流れる吉野川の下流北岸に位置し、旧吉野川と吉野川に囲まれたデルタ地帯で板野郡のほぼ中央にある山がまったくない珍しい町です。雄大な自然がもたらした肥沃な土地によって、かつては「藍」でにぎわい、近年では全国有数の春ニンジンの産地となっています。



## ④ 東中富桜つつみ公園

平成14年に開園した旧吉野川に面する公園です。滝とせせらぎ広場、多目的芝生広場、アスレチックのあるわんぱく広場が整備され、多くの親子が集います。春には、園内や親水公園へと続く旧吉野川沿いの道路に桜が咲き誇ります。

所在地／藍住町東中富字西傍51番地1



## ⑤ 東中富親水公園

平成5年に正法寺川浄化事業の一環として完成した公園。浄化引水ポンプ設備を備え、その周辺を紫雲母を使った人工滝を見ることが出来ます。

所在地／藍住町東中富字直道傍示



みどり橋



UFO公園 (通称)

## ⑥ 正法寺川公園

平成7年に正法寺川沿岸に整備された正法寺川公園。園内の木造アーチ橋(みどり橋)は、全長60メートルと西日本屈指のもので、「UFO公園(通称)」と呼ばれるアスレチックのある広場もあります。

所在地／藍住町矢上字原209番地



## ⑧ 町民体育館

平成25年9月にスポーツ振興拠点施設として開館しました。町にゆかりのある藍倉をイメージした外観で、館内にはアリーナ、トレーニングルーム、研修室、会議室等を備えています。

所在地／藍住町奥野字矢上前18番地1  
TEL／(088)692-1115  
開館時間／午前8時30分～午後10時  
休館日／月曜日(月曜日が祝日に当たるときは翌日)  
12月28日～翌年1月4日



## ⑦ 河川敷運動公園・パークゴルフ場

河川敷運動公園は、吉野川河川敷に整備された公園です。グラウンドが2面あり、体育、スポーツ及びレクリエーションに利用できます。 TEL／(088)692-1115 (町民体育館)

○パークゴルフ場  
公園内にあるパークゴルフ場は、国際パークゴルフ協会公認コースに認定されている全3コース27ホール、2つのコース。用具の貸し出し(1セット100円)もあり、気軽にプレイできます。

所在地／藍住町徳命字西ノ丁地先  
TEL／(088)693-1020 (パークゴルフ場事務所)  
利用時間／午前8時～午後6時(季節により変動)  
定休日／毎週火曜日・年末年始  
利用料／(町内の方・27ホール)一般300円、小学生以下100円  
(町外の方・27ホール)一般400円、小学生以下200円



## ⑨ 千光寺・梅

初代徳島藩主蜂須賀至鎮(義伝公)が、こよなく愛したという臥竜梅が有名なお寺。「阿波志」には「千光寺は梅の坊と称し、臥竜1株あり」と記されています。当時の梅樹が枯れた跡に八重梅が植えられ、見事に育ち今日に至っています。

見ごろ／2月中旬～3月中旬  
所在地／藍住町徳命字元村79番地

# イベント



## ③ 春・秋のバラまつり

バラ園ではバラの見頃に合わせて、毎年5月上旬～中旬、10月下旬の年2回バラまつりが開催されます。期間中は藍住町観光物産協会によるバラ苗等の販売が行われます。



## 商工会納涼祭

例年7月下旬に開催される藍住町の夏を彩るお祭り。野外ステージでは、毎回工夫を凝らしたイベントが行われています。



## ビッグフェスティバル

11月の文化の日を中心に開催され、町の文化と伝統を生かそうと、さまざまな催し物が行われます。なかでも「あいラブ・フェスティバル」は郷土芸能や、紅花染体験、児童音楽会などが行われ、文化の薫りのする秋のイベントとして親しまれています。